

令和4年 10月 27日(木曜日)



(発信者)  
野々市市 市民協働課 広報広聴係  
電話番号 076-227-6056  
FAX 番号 076-227-6259  
Mail kyoudou@city.nonoichi.lg.jp  
HP http://www.city.nonoichi.lg.jp

市指定文化財の指定について

下記の資料を市指定文化財に指定します。

指 定 種 別 有形文化財 歴史資料

指 定 日 令和4年 11月 1日 (火)

名 称 聖徳太子一代記図絵馬 一面  
石山合戦図絵馬 二面  
算額 一面

所 有 者 布市神社宮司

所在の場所 野々市市本町二丁目 14 番 16 号 (布市神社)

指 定 理 由 「聖徳太子一代記図絵馬 (しょうとくたいしいちだいきずえま)」は、嘉永二年 (1849)、福島秀川 (しゅうせん) の筆による大絵馬で、聖徳太子の生涯が金雲 (きんうん) で仕切った場面ごとに表現されている。聖徳太子の生涯を描いた作品として、本図のように絵馬形式のものは珍しく、近世における聖徳太子信仰の広がりやを研究するうえで貴重である。

「石山合戦図絵馬 (いしやまかつせんずえま)」は、元亀元年 (1570) から 10 年にわたる石山合戦において、本願寺法主の顕如 (けんによ) が石山本願寺に籠って戦った様子を、16 の場面に仕切って描いた絵馬である。安政二年 (1855) の奉納年が記されている本絵馬は、加賀地域に類例が見られる石山合戦を画題とした絵馬の中でも、年代が判明しているものにおいて最古である。

「算額」は、安政五年 (1858)、和算家・測量家である徳用村 (とくもとむら) の順二郎の門人 7 名が、和算の解法を記し奉納したものである。算額は、問題が解けたことに感謝し、益々勉学に励むことを祈願して、全国的に奉納された。本算額は、野々市市域における和算の興隆を物語る貴重な資料である。

いずれも野々市市の文化・信仰を示すものとして貴重な歴史資料であるため、野々市市の指定文化財に指定する。

◎資料別添

## お問い合わせ先

[担当] 野々市市教育委員会 生涯学習課文化財係 阿部 弥生  
電話 076-227-6122



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS